

大学番号 私48

注3

設置年度 平成 29年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

人間総合科学大学 人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人早稲田医療学園

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学務課

職名・氏名 シムチョウ 事務長 オガワ 小川 ヒデアキ 英朗

電話番号 048-749-6111

（夜間） 048-749-6111

e-mail admin@human.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間科学部

＜ヘルスフードサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 早稲田医療学園

(2) 大学名

人間総合科学大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒339-8539

埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クスミ マリ) 久住 眞理 (平成3年4月)		
学長	(クスミ マリ) 久住 眞理 (平成3年4月)		
学部長	(ダイトウ シュンイチ) 大東 俊一 (平成27年4月)	(コイワ ノブヨシ) 小岩 信義 (令和3年4月)	学部長退任のため 令和3年4月 (3)
学科長等	(クワタ タモツ) 桑田 有 (平成29年4月)	(トキミツ イチロウ) 時光 一郎 (平成30年4月)	学科長退任のため 平成30年4月 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
 ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間科学部 ヘルスフードサイエンス 学科 学士 (食品健康科学)	家政関係	4年	60人	年次 一人	240人		(入学定員80、 収容定員320、 2020年4月、2) 人間科学部 健康栄養学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期											
A 入学定員	80人 () []		80人 () []		80人 () []		60人 () []		60人 () []		0.39倍	0.33倍	
志願者数	9 () []		26 () []		33 () []		52 () []		38 () []				
受験者数	9 () []		20 () []		33 () []		50 () []		37 () []				
合格者数	9 () []		16 () []		31 () []		50 () []		36 () []				
B 入学者数	7 () []		13 () []		25 () []		41 () []		26 () []				
入学定員超過率 B/A	0.08		0.16		0.31		0.68		0.43				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	7 [-] (-)	- [-] (-)	13 [-] (-)	3 [-] (-)	25 [-] (-)	- [-] (-)	41 [-] (-)	- [-] (-)	26 [-] (-)	- [-] (-)	転入学生3名 (30) 転入学生3名 (30) 転入学生1名 (元)
2年次	/		9 [-] (-)	1 [-] (-)	15 [-] (-)	- [-] (-)	25 [-] (-)	- [-] (-)	38 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		10 [-] (-)	- [-] (-)	11 [-] (-)	- [-] (-)	23 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		10 [-] (-)	- [-] (-)	10 [-] (-)	- [-] (-)	
計	7 [-] (-)		26 [-] (-)		50 [-] (-)		87 [-] (-)		97 [-] (-)		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	7人	0人	平成29年度	人	人	
平成30年度	26人	2人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	2人	人	他の教育機関への入学(1名) 学生個人の心身に関する事情(1名)
令和元年度	50人	3人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	2人	人	他の教育機関への入学(1名) 本学心身健康科学科への入学(1名)
			令和元年度	1人	人	病気のため(1名)
令和2年度	87人	7人	平成29年度	1人	人	学費支払い困難(1名)
			平成30年度	3人	人	心身健康科学へ編入(1名) 学費未納による除籍(1名) 本人死亡による除籍(1名)
			令和元年度	1人	人	留年のため(1名)
			令和2年度	2人	人	学習意欲低下(1名) 進路変更(1名)
令和3年度	97人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		12人		12人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{26} = \boxed{7.69} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{50} = \boxed{6} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{87} = \boxed{8.04} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{97} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コア科目	心身健康科学概論	1前	2			3			1		9
	行動科学概論	3後	1								1
	生命科学概論	1前	1								1
	小計(3科目)	-	4	0	0	3	0	0	1	0	11
基礎科目	こころの科学	1前	2								1
	化学基礎	1前	2								1
	生物学基礎	1前	2					1			
	生化学	2前	2					1			
	有機化学	2後	2								1
	無機化学	2後	2								1
	食品微生物学	2前	2			1					
	細胞と遺伝子	3前	2								1
	基礎統計演習	3前	2								2
	英語基礎	1前	2								1
	食文化論	2前	2			1					
	コンピュータ入門	1前	2								2
	論理学—論理的思考と表現法	1後	1								1
	数学	1前	1								1
	ストレスと食・健康	1後	1								1
	職業とキャリア形成	1前	1			1					
	コミュニケーション演習	1前	1			1		1			
	体育概論	1前	1								1
	スポーツと健康	1後	1								1
小計(19科目)	-	23	8	0	3	0	1	0	0	10	
食品・栄養の基礎	食品学総論	1前	2			1					
	食品学各論	1後	2			1					
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1					
	食品学実験Ⅱ	3後	1			1					
	食の科学	1後	2								1
	食品素材論	2後	2								1
	調理学	2前	2								1
	栄養と代謝	1後	2					1			
	栄養代謝実験	3前	2						1		
	食品加工基礎	1後	2			1					
	食品加工基礎実習	1後	1			1					
	食生活と健康	2前	2						1		
	食品管理論	2前	2			1					
	食品衛生学	2前	2			1					
	食品衛生学実験	2後	1			1					

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コア科目	生命科学概論	4前	1					1			
	心身健康科学	1通	1					2			7
	ヒューマンⅠ	2通	1								6
	ヒューマンⅡ	3通	1					1			7
	ヒューマンⅢ	4通	1								7
小計(5科目)	-	5	0	0	2	0	0	0	0	13	
基礎科目	こころの科学	1前	2								1
	化学基礎	1前	2								1
	生物学基礎	1前	2								1
	生化学	2前	2					1			
	有機化学	1後	2					1			
	無機化学	2前	2		2			1			
	食品微生物学	1前	2						1		
	細胞と遺伝子	3後	2								1
	基礎統計演習	3前	2								1
	英語基礎	1前	2								1
	食文化論	2後	2								1
	コンピュータ入門	1前	2								1
	論理学—論理的思考と表現法	1後	1								1
	数学	1後	1								1
	ストレスと食・健康	1後	1					1			
	職業とキャリア形成	1・2・3通	1					2	3	1	2
	コミュニケーション演習	1前	1					2	3	1	
	体育概論	1後	1								1
	スポーツと健康	1後	1								1
AI・データ活用リテラシー	2後	1					1			1	
小計(19科目)	-	27	5	0	3	0	3	1	0	12	
食品・栄養の基礎	食品学総論	1前	2			1					
	食品学各論	1後	2			1					
	食品学実験Ⅰ	1後	1								1
	食品学実験Ⅱ	3後	1					1			
	食の科学	1後	2					1			
	食品素材論	2前	2					1			
	調理学	1前	2							1	
	栄養と代謝	1後	2								1
	栄養代謝実験	3前	1								1
	食品加工基礎	1後	2								1
	食品加工基礎実習	1後	1		1						1
	食生活と健康	1前	2								1
食品管理論	2前	2					1				
食品衛生学	2前	2						1			
食品衛生学実験	2後	1						1			
臨床栄養学概論	2前	2						1			
給食計画論	1前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	小計(15科目)	-	15	11	0	1	0	1	1	0	2
人間理解の基礎	生化学実験	2後	1								1
	身体の構造と機能	1前	2					1			
	病気の成り立ち	2前		2					1		
	解剖生理学実習	2前		1					1		
	食品醗酵学	2前		2		1					
	免疫学	3後		2		1					
	感染症学	3後		2		1					
	小計(7科目)	-	3	9	0	2	0	1	1	0	1
ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	3前	2			1					
	ブレインサイエンス	2後		2							1
	公衆衛生学Ⅰ	2後	2			1					
	公衆衛生学Ⅱ	3前		2		1					
	シンバイオティクス	3前		2							1
	分析化学	3前		2				1			
	応用微生物学実験	3前		1		1					
	応用栄養学実習	2後		1					1		
	栄養分析学実験	3前		1					1		
	公衆栄養学	2後	2								1
	ライフステージ栄養学(栄養指導論)	2後		2		1					
	ライフステージ栄養管理実習(栄養指導論)	3前		1		1					
	ヘルスサイエンスリサーチ	4前		2		1					
	食品官能評価	4前		2							1
	栄養遺伝子学(ニュートリゲノミクス)	4後		2							1
食品機能評価	4後		2		1						
小計(16科目)	-	6	22	0	4	0	1	1	0	3	
フードマネージメント分野	調理学実習Ⅰ	2後		1							1
	調理学実習Ⅱ	3前		1							1
	総合調理実習	4前		2							1
	給食の運営管理論	2前		2							1
	給食経営管理実習(校外実習)	2通		2							1
	食品工学総論	2前		2							1
	フードマネジメント論	3後	2			1					
	食品加工貯蔵学	3前		2		1					
	食品加工応用	2後		2		1					
	分子調理学	3前		2							1
	食品機能学	3後	2								1
	食品分析学	3後		2		1					
	食品生命科学	3後		2							1
	機能性食品学Ⅰ	4前		2		1					1
	機能性食品学Ⅱ	4後		2							1
機能性評価科学	4後		2							1	
小計(16科目)	-	4	26	0	3	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	栄養学のデータサイエンス	4前		2							1
	栄養学のマーケティング	4前		2							1
	小計(17科目)	-	26	7	0	2	0	2	1	0	6
人間理解の基礎	生化学実験	2後	1			1					
	身体の構造と機能	1前	2								1
	病気の成り立ち	2前	2								1
	解剖生理学実習	2前	1								1
	食品醗酵学	2後		2							1
	免疫学	3後		2							1
	感染症学	3後		2							1
	小計(7科目)	-	8	4	0	1	0	0	0	0	4
ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	3前	2								1
	ブレインサイエンス	3前		2							1
	公衆衛生学Ⅰ	2後	2			1		1			
	公衆衛生学Ⅱ	3前	2					1			
	シンバイオティクス	3後		2							1
	分析化学	2後		2				1			
	応用微生物学実験	3前		1					1		
	臨床栄養学実習	2後	1						1		
	応用栄養学実習	2後		1							1
	栄養分析学実験	3前		1					1		1
	公衆栄養学	2後	2						1		
	栄養指導論Ⅰ	1後	2						1		
	栄養指導論Ⅱ	2前	2						1		
	栄養指導実習	2後	1						1		
	ライフステージ栄養学	2前	2						1		
ライフステージ栄養管理実習	3前		1							1	
ヘルスサイエンスリサーチ	4前		2							1	
食品官能評価	3後		2					1			
栄養遺伝子学(ニュートリゲノミクス)	4後		2							1	
食品機能評価	3後		2							1	
小計(20科目)	-	17	17	0	2	0	3	0	0	7	
フードマネージメント分野	調理学実習Ⅰ	1前	1							1	
	調理学実習Ⅱ	1後	1							1	
	総合調理(給食の運営)実習	3前	2						1		1
	給食の運営管理論	1後	2								1
	給食経営管理実習(校外実習)(未開講)	3通	2						1		
	食品工学総論	2前		2							1
	フードマネジメント論	3後	2								1
	食品加工貯蔵学	3前		2							1
	食品加工応用	2後	2				2		3	1	
	分子調理学	1・2・3通	2				2		3	1	
	食品機能学	3後	2								1
	食品分析学	3前		2							1
	食品生命科学	3後		2							1
	機能性食品学Ⅰ	4前		2							1
	機能性食品学Ⅱ	4後		2							1
機能性評価科学(臨床検査学)	3前		2							1	
小計(16科目)	-	12	18	0	2	0	3	1	0	8	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コア科目	心身健康科学概論	1前	2			2					10
	行動科学概論	3後	1								1
	生命科学概論	1前	1								1
	小計(3科目)	-	4	0	0	2	0	0	0	0	12
基礎科目	こころの科学	1前	2								1
	化学基礎	1前	2								1
	生物学基礎	1前	2								1
	生化学	2前	2								1
	有機化学	1後	2			1					
	無機化学	2前		2		1					
	食品微生物学	1前	2					1			
	細胞と遺伝子	3前		2							1
	基礎統計演習	3前	2								2
	英語基礎	1前	2								1
	食文化論	2後	2			1					1
	コンピュータ入門	1前	2								1
	論理学—論理的思考と表現法	1後	1								1
	数学	1前	1								1
	ストレスと食・健康	1後	1			2					
	職業とキャリア形成	1前	1			2					
	コミュニケーション演習	1前	1			3		1			2
	体育概論	1前	1								1
	スポーツと健康	1後	1								1
小計(19科目)	-	27	4	0	4	0	1	1	0	13	
食品・栄養の基礎	食品学総論	1前	2			1					
	食品学各論	1後	2			3			1		
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1					
	食品学実験Ⅱ	3後	1			1					1
	食の科学	1後	2			1					
	食品素材論	2前	2			1					
	調理学	1後	2								1
	栄養と代謝	1後	2			1					
	栄養代謝実験	3前	1			1					
	食品加工基礎	1後	2								1
	食品加工基礎実習	1後		1							1
	食生活と健康	1後	2			1					
	食品管理論	2前		2		1					
	食品衛生学	2前	2			1			1		
	食品衛生学実験	2後	1			1			1		
	臨床栄養学概論	2前	2								1
	給食計画論	1後	2								1
小計(17科目)	-	26	3	0	4	0	0	1	0	3	
人間理解の基礎	生化学実験	2後	1								1
	身体の構造と機能	1前	2								1
	病気の成り立ち	2前	2								1
	解剖生理学実習	2前	1								2
	食品醗酵学	2前		2		1					1
	免疫学	3後	2								1
	感染症学	3後		2							1
小計(7科目)	-	8	4	0	1	0	0	0	0	4	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コア科目	生命科学概論	1前	1								1
	心身健康科学	1通	1			1					6
	ヒューマンⅠ	2通	1								8
	ヒューマンⅡ	3通	1					1			7
	ヒューマンⅢ	4通	1								9
小計(5科目)	-	5	0	0	2	0	0	0	0	15	
基礎科目	こころの科学	1前	2								1
	化学基礎	1前	2								1
	生物学基礎	1前	2								1
	生化学	2前	2					1			
	有機化学	1後	2			1					
	無機化学	2前		2		1					
	食品微生物学	1前	2						1		
	細胞と遺伝子	3後		2							1
	基礎統計演習	3前	2								3
	英語基礎	1前	2								1
	食文化論	2後	2								1
	コンピュータ入門	1前	2								1
	論理学—論理的思考と表現法	1後	1								1
	数学	1後	1								1
	ストレスと食・健康	1後	1					1			
	職業とキャリア形成	1・2・3通	1			2		3	1		
	コミュニケーション演習	1前	1					2			4
	体育概論	1後	1								1
	スポーツと健康	1後	1								1
小計(19科目)	-	27	4	0	3	0	3	1	0	15	
食品・栄養の基礎	食品学総論	1前	2			1					
	食品学各論	1後	2			3		1			
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1			1		
	食品学実験Ⅱ	3後	1			1			1		
	食の科学	1後	2			1					1
	食品素材論	2前	2			1					
	調理学	1前	2							1	
	栄養と代謝	1後	2			1					
	栄養代謝実験	3前	1			1			1		
	食品加工基礎	1後	2								1
	食品加工基礎実習	1後		1							1
	食生活と健康	1前	2			1					1
	食品管理論	2前		2		1					
	食品衛生学	2前	2			1			1		
	食品衛生学実験	2後	1			1			1		
	臨床栄養学概論	2前	2						1		
	給食計画論	1前	2							1	
小計(17科目)	-	26	3	0	2	0	3	1	0	3	
人間理解の基礎	生化学実験	2後	1					1			
	身体の構造と機能	1前	2								1
	病気の成り立ち	2前	2								1
	解剖生理学実習	2前	1								1
	食品醗酵学	2前		2		1					1
	免疫学	3後	2								1
	感染症学	3後		2							1
小計(7科目)	-	8	4	0	1	0	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	3前	2			1						1
	ブレインサイエンス	3前		2								1
	公衆衛生学Ⅰ	2後	2			1						
	公衆衛生学Ⅱ	3前	2			1						
	シンバイオティクス	3前		2								1
	分析化学	2後		2		1						
	応用微生物学実験	3前		1					1			
	臨床栄養学実習	2後	1									1
	応用栄養学実習	2後		1								1
	栄養分析学実験	3前	1			1						
	公衆栄養学	2後	2									1
	栄養指導論Ⅰ	1後	2					1				1
	栄養指導論Ⅱ	2前	2					1				1
	栄養指導実習	2後	1					1				1
	ライフステージ栄養学	2前	2			1						
	ライフステージ栄養管理実習	3前		1		1						
	ヘルスサイエンスリサーチ	4前		2		1						
食品官能評価	3後		2								1	
栄養遺伝子学(ニュートリゲノミクス)	4後		2								1	
食品機能評価	3後		2		1							
小計(20科目)	-	17	17	0	3	0	1	1	0		5	
フードマネージメント分野	調理学実習Ⅰ	2後	1									1
	調理学実習Ⅱ	3前	1									1
	総合調理(給食の運営)実習	3前	2									1
	給食の運営管理論(未開講)	2前	2					1				
	給食経営管理実習(校外実習)	3通	2					1				
	食品工学総論	2前		2		1						1
	フードマネジメント論	3後	2			1						1
	食品加工貯蔵学	3前		2		1						1
	食品加工応用	2後		2						1		
	分子調理学	3前		2								1
	食品機能学	3後	2									1
	食品分析学	3前		2		1						1
	食品生命科学	3後		2								1
	機能性食品学Ⅰ	4前		2		1						1
	機能性食品学Ⅱ	4後		2								1
	機能性評価科学(臨床検査学)	3前		2								1
小計(16科目)	-	12	18	0	3	0	0	1	0		3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	3前	2									1
	ブレインサイエンス	3前		2								1
	公衆衛生学Ⅰ	2後	2					1				
	公衆衛生学Ⅱ	3前	2					1				
	シンバイオティクス	3後		2								1
	分析化学	2後		2		1						
	応用微生物学実験	3前		1					1			
	臨床栄養学実習	2後	1									1
	応用栄養学実習	2後		1								1
	栄養分析学実験	3前	1									1
	公衆栄養学	2後	2									1
	栄養指導論Ⅰ	1後	2									2
	栄養指導論Ⅱ	2前	2									2
	栄養指導実習	2後	1									2
	ライフステージ栄養学	2前	2								1	
	ライフステージ栄養管理実習	3前		1							1	
	ヘルスサイエンスリサーチ	4前		2				1				
食品官能評価	3後		2						1			
栄養遺伝子学(ニュートリゲノミクス)	4後		2								1	
食品機能評価	3後		2								1	
小計(20科目)	-	17	17	0	2	0	3	0	0		6	
フードマネージメント分野	調理学実習Ⅰ	1前	1								1	
	調理学実習Ⅱ	1後	1								1	
	総合調理(給食の運営)実習	3前	2								1	
	給食の運営管理論	1後	2								1	
	給食経営管理実習(校外実習)(未開講)	3通	2								1	
	食品工学総論	2前		2								1
	フードマネジメント論	3後	2									1
	食品加工貯蔵学	3前		2								1
	食品加工応用	2後		2				1				
	分子調理学	1・2・3通		2				1		2	1	
	食品機能学	3後	2									1
	食品分析学	3前		2								1
	食品生命科学	3後		2								1
	機能性食品学Ⅰ	4前		2								1
	機能性食品学Ⅱ	4後		2								1
	機能性評価科学(臨床検査学)	3前		2								1
小計(16科目)	-	12	18	0	1	0	2	1	0		5	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生命科学概論	4前	1									1
	心身健康科学	1通	1			1						6
	ヒューマンⅠ	2通	1									8
	ヒューマンⅡ	3通	1			1						7
	ヒューマンⅢ	4通	1									9
	小計(4科目)	-	5	0	0	2	0	0	0	0	0	31
基礎科目	こころの科学	1前	2									1
	化学基礎	1前	2									1
	生物学基礎	1前	2									1
	生化学	2前	2			1						
	有機化学	1後	2			1						
	無機化学	2前		2		1						
	食品微生物学	1前	2					1				
	細胞と遺伝子	3後		2								1
	基礎統計演習	3前	2									3
	英語基礎	1前	2									1
	食文化論	2後	2									1
	コンピュータ入門	1前	2									1
	論理学—論理的思考と表現法	1後	1									1
	数学	1後	1									1
	ストレスと食・健康	1後	1			1						
	職業とキャリア形成	1・2・3通	1			2		3	1			
	コミュニケーション演習	1前	1			2		2				4
	体育概論	1後	1									1
	スポーツと健康	1後	1									1
	小計(19科目)	-	27	4	0	8	0	6	1	0	0	18
食品・栄養の基礎	食品学総論	1前	2			1						
	食品学各論	1後	2			1						
	食品学実験Ⅰ	1後	1					1				
	食品学実験Ⅱ	3後	1					1				
	食の科学	1後	2									1
	食品素材論	2前	2			1						
	調理学	1前	2						1			
	栄養と代謝	1後	2									1
	栄養代謝実験	3前	1					1				
	食品加工基礎	1後	2									1
	食品加工基礎実習	1後		1								1
	食生活と健康	1前	2									1
	食品管理論	2前		2		1						
	食品衛生学	2前	2			1		1				
	食品衛生学実験	2後	1			1		1				
	臨床栄養学概論	2前	2					1				
	給食計画論	1前	2									1
	小計(17科目)	-	26	3	0	6	0	6	1	0	0	6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間理解の基礎	生化学実験	2後	1			1						
	身体の構造と機能	1前	2									1
	病気の成り立ち	2前	2									1
	解剖生理学実習	2前	1									1
	食品醗酵学	2前		2								1
	免疫学	3後	2									1
	感染症学	3後		2								1
	小計(7科目)	-	8	4	0	1	0	0	0	0	0	6
ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	3前	2									1
	ブレインサイエンス	3前		2								1
	公衆衛生学Ⅰ	2後	2					1				
	公衆衛生学Ⅱ	3前	2			1						
	シンバイオティクス	3後		2								1
	分析化学	2後		2		1						
	応用微生物学実験	3前		1				1				
	臨床栄養学実習	2後	1					1				
	応用栄養学実習	2後		1				1				
	栄養分析学実験	3前	1					1				
	公衆栄養学	2後	2					1				
	栄養指導論Ⅰ	1後	2									2
	栄養指導論Ⅱ	2前	2									2
	栄養指導実習	2後	1									2
	ライフステージ栄養学	2前	2					1				
	ライフステージ栄養管理実習	3前		1				1				
	ヘルスサイエンスリサーチ	4前		2		1						
	食品官能評価	3後		2				1				
	栄養遺伝子学(ニュートリゲノミクス)	4後		2								1
食品機能評価	3後		2								1	
小計(20科目)	-	17	17	0	3	0	9	0	0	0	11	
フードマネージメント分野	調理学実習Ⅰ	1前	1						1			
	調理学実習Ⅱ	1後	1						1			
	総合調理(給食の運営)実習	3前	2						1			
	給食の運営管理論	1後	2						1			
	給食経営管理実習(校外実習)(未開講)	3通	2						1			
	食品工学総論	2前		2								1
	フードマネジメント論	3後	2									1
	食品加工貯蔵学	3前		2								1
	食品加工応用	2後		2		1						
	分子調理学	1・2・3通		2		1		2	1			
	食品機能学	3後	2									1
	食品分析学	3前		2								1
	食品生命科学	3後		2								1
	機能性食品学Ⅰ	4前		2								1
	機能性食品学Ⅱ	4後		2								1
	機能性評価科学(臨床検査学)	3前		2								1
小計(16科目)	-	12	18	0	2	0	2	6	0	0	9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバルビジネス分野	フードシステム学	3前	2									1
	食品の経営学	1前	2									1
	食品の経営学Ⅱ	2後		2								1
	食品流通学	1前		2								1
	食品資源論	2後		2		1						
	食品生産流通学実習(視察)	3後		1		2		3	1			
	フードスペシャリスト論	3後		2		1						
	フードコーディネート論	3後		2		1						
	健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)	2通		2								1
	国際英語(プレゼンテーション)	3通		2								1
	食品安全等国際制度論	4前	2									1
	グローバルヘルスフード開発	4前		2								1
	フードセーフティ入門	4後		2		1						
	食品リスク管理論	4前		2								1
	食環境生産教育実習	3通		2		1		1	1			2
	国際産学連携論	4前		2								1
	トレーサビリティ論	4後		2								1
フードビジネス関連法規	4後		2								1	
小計(17科目)	-	6	29	0	7	0	4	2	0		14	
インターンシップ	インターンシップ	2通		2		2		3	1			
	卒業研究	3・4		2		2		3	1			
	小計(2科目)	-	0	4	0	4	0	6	1	0	0	
共通科目	国際研修	全		1		1						
	ボランティア活動	全		1		1						
	小計(2科目)	-	0	2	0	2	0	0	0	0	0	
合計(104科目)	-	101	81	0	4	0	3	1	0		95	
卒業要件及び履修方法												
必修科目101単位を修得し、130単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：46単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しの理由により、「心身健康科学概論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、兼任・兼担の配置を「兼13」から「兼10」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「有機化学」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品微生物学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食文化論」の配当年次を「2前」から「2後」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の産休の理由により、「コンピューター入門」の兼任・兼担の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「職業とキャリア形成」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実を図る理由により、「コミュニケーション演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「兼5」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の退職の理由により、「スポーツと健康」の兼任・兼担の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品学各論」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品学実験Ⅱ」の兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品素材論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「調理学」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養代謝実験」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品加工基礎」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「食生活と健康」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品衛生学」「食品衛生学実験」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「臨床栄養学概論」「2前」「必修2」「兼1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「給食計画論」「1後」「必修2」「兼1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「病気の成り立ち」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「解剖生理学実習」の単位数を「選択1」から「必修1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る及び担当教員の退職により検討中としていた理由により、「免役学」の単位数を「選択2」から「必修2」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の退職により検討中としていた理由により、「感染症学」の兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「ブレインサイエンス」の配当年次を「2後」から「3前」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「公衆衛生学Ⅱ」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「分析化学」の配当年次を「3前」から「2後」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「臨床栄養学実習」「2後」「必修1」「兼1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養分析学実験」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養指導論Ⅰ」「1後」「必修2」「講師1」「兼1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養指導論Ⅱ」「2前」「必修2」「講師1」「兼1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養指導実習」「2後」「必修1」「講師1」「兼1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る及び科目名称の明確化の理由により、「ライフステージ栄養学(栄養指導論)」の授業科目の名称を「ライフステージ栄養学」、配当年次を「2後」から「2前」、単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・科目名称の明確化の理由により、「ライフステージ栄養管理実習(栄養指導論)」の授業科目の名称を「ライフステージ栄養管理実習」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品官能評価」の配当年次を「4前」から「3後」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品機能評価」の配当年次を「4後」から「3後」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「調理学実習Ⅰ」「調理学実習Ⅱ」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実・科目名称の明確化の理由により、「総合調理実習」の授業科目の名称を「総合調理(給食の運営)実習」、配当年次を「4前」から「3前」、単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実を図る理由により、「給食の運営管理論」の単位数を「選択2」から「必修2」、専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実を図る理由により、「給食経営管理実習(校外実習)」の配当年次を「2通」から「3通」、単位数を「選択2」から「必修2」、専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品工学総論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「食品加工応用」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品分析学」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・科目名称の明確化の理由により、「機能性評価科学」の授業科目の名称を「機能性評価科学(臨床検査学)」、配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「食品資源論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)」の配当年次を「2前」から「2通」、専任教員等の配置を「教授0」から「教授3」、「助教0」から「助教1」、「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る及び担当教員の退職により検討中としていた理由により、「国際英語(プレゼンテーション)」の配当年次を「2後」から「3通」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の見直し及び教育効果の充実を図る理由により、「インターンシップ」の配当年次を「3」から「2通」、専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「国際研修」「全」「選択1」「教授1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「ボランティア活動」「全」「選択1」「教授1」を新規追加。

【令和元年度】

- ・コア科目の教育効果の充実を図る理由により、「心身健康科学概論」「行動科学概論」を、「心身健康科学」「1通」「必修1」「教授1」「兼6」、「ヒューマンⅠ」「2通」「必修1」「兼8」、「ヒューマンⅡ」「3通」「必修1」「教授1」「兼7」、「ヒューマンⅢ」「4通」「必修1」「兼9」を新規追加。
- ・専任教員の所属変更により、「生化学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・専任教員の昇格の理由により、「食品微生物学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「細胞と遺伝子」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「基礎統計演習」の兼任・兼担の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「食文化論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更し、「兼1」とした。
- ・担当教員の見直しの理由により、「数学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員辞任等の理由により、「ストレスと食・健康」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「職業とキャリア形成」の配当年次を「1前」から「1・2・3通」、専任教員等の配置を「講師0」から「講師3」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「コミュニケーション演習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」、兼任・兼担の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「体育概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「食品学各論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員辞任の理由により、「食品学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「食品学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・担当教員の定年退職の理由により、「食の科学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「調理学」の配当年次を「1後」から「1前」、専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・担当教員辞任の理由により、「栄養と代謝」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員辞任の理由により、「栄養代謝実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員辞任及び教育効果の充実を図る理由により、「食生活と健康」の配当年次を「1後」から「1前」、専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・専任教員の昇格の理由により、「食品衛生学」「食品衛生学実験」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「臨床栄養学概論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実を図る理由により、「給食計画論」の配当年次を「1後」から「1前」、専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・専任教員の所属変更により、「生化学実験」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「解剖生理学実験」の兼任・兼担の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の定年退職の理由により、「食品発酵学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「ヘルスフードサイエンス」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「公衆衛生学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「シンバイオティクス」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・専任教員の昇格の理由により、「応用微生物学実験」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「臨床栄養学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・専任教員の所属変更により、「応用栄養学実験」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・担当教員辞任の理由により、「栄養分析学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の所属変更により、「公衆栄養学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・専任教員の所属変更により、「栄養指導論Ⅰ」「栄養指導論Ⅱ」「栄養指導実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員辞任の理由により、「ライフステージ栄養学」「ライフステージ栄養管理実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品官能評価」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・担当教員辞任の理由により、「食品機能評価」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実を図る理由により、「調理学実習Ⅰ」の配当年次を「2後」から「1前」、専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実を図る理由により、「調理学実習Ⅱ」の配当年次を「3前」から「1後」、専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・専任教員の所属変更により、「総合調理（給食の運営）実習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「給食の運営管理論」の配当年次を「2前」から「1後」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「食品工学総論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員辞任の理由により、「フードマネジメント論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の定年退職の理由により、「食品加工貯蔵学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品加工応用」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「分子調理学」の配当年次を「3前」から「1・2・3通」、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師0」から「講師2」、「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・担当教員辞任の理由により、「食品分析学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員辞任及び担当教員の見直しの理由により、「機能性食品学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更し、「兼1」とした。

- ・担当教員の定年退職の理由により、「フードシステム学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品の経営学」「食品流通学」の配当年次を「3前」から「1前」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品生産流通学実習（視察）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「講師0」から「講師3」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授0」、「助教1」から「助教0」、兼任・兼担の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の定年退職の理由により、「グローバルヘルスフード開発」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「フードセーフティ入門」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食環境生産教育実習」の配当年次を「3後」から「3通」、専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼2」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び担当教員の見直しの理由により、「インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」、「講師0」から「講師3」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び担当教員の見直し、教育効果の充実を図る理由により、「卒業研究」の配当年次を「4」から「3・4」、専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」、「講師0」から「講師3」に変更。

【令和2年度】

- ・教育効果の充実を図るため「食の経営学Ⅱ」を開講「兼0」を配置

【令和3年度】

- ・AI・データサイエンスに関する教育の充実を図るため「AI・データ活用リテラシー」「栄養学のデータサイエンス」「栄養学のマーケティング」を開講「兼1」を配置

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
37 科目	58 科目	— 科目	95 科目	62 科目 [+25]	45 科目 [△13]	— 科目 []	107 科目 [+12]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	心身健康科学概論	2	1前	一般	必修	廃止の理由：本学コア科目の教育内容見直しの為 代替措置：新たに「心身健康科学」「ヒューマンⅠ」「ヒューマンⅡ」「ヒューマンⅢ」の4科目を開講
2	行動科学概論	1	3前	一般	必修	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学コア科目の教育内容の見直しを行い、「心身健康科学概論」「行動科学概論」を、「心身健康科学」「ヒューマンⅠ」「ヒューマンⅡ」「ヒューマンⅢ」に改め、より学生が学び理解しやすい科目内容及び学年配当に変更した。
 なお、2018年度以前入学生については変更前の「心身健康科学概論」を開講し、2019年度入学生より ガイダンス時における教員紹介、シラバス、時間割により周知徹底した上で、新規「心身健康科学」「ヒューマンⅠ」「ヒューマンⅡ」「ヒューマンⅢ」を開講している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{2}{95} = \boxed{2.1\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	記載内容の誤りによる訂正 (30) 実習農園購入による増加 (31)		
	校舎敷地	22,647 23,319.67㎡	574.68㎡	86.05㎡	22,647 23,980.40㎡			
	運動場用地	2,837.00㎡	0㎡	0㎡	2,837.00㎡			
	小 計	25,484 26,156.67㎡	574.68㎡	86.05㎡	25,484 26,817.40㎡			
	そ の 他	4,923 6,742.23㎡	0㎡	0㎡	4,923 6,742.23㎡			
	合 計	27,407 32,898.90㎡	574.68㎡	86.05㎡	27,407 33,559.63㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	実験棟増設 (31)			
	17,694 18,862.71㎡	0㎡	863.35㎡	17,694 19,726.06㎡				
	(17,694 18,862.71㎡)	(0㎡)	(863.35㎡)	(17,694 19,726.06㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 増設 (30)		
	33 35室	4室	25室	2室 (補助職員2人)	1室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科		7 8 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科単位での特定不能なため大学全体の数 図書、視聴覚資料の増加分は新規購入。学術雑誌減少分は契約見直し変更(元)
	人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科	42,400 [4,480] (50,828 [6,825]) (42,559 [4,341]) (38,547 [4,072])	7,003 [2,533] (6,911 [2,438]) (7,148 [2,516]) (6,367 [2,303])	55 [55] (73 [73]) (60 [60]) (51 [51])	2,049 (2,147) (2,039) (2,006)	9,518 (7,940)	190 (180)	
	計	42,400 [4,480] (50,828 [6,825]) (42,559 [4,341]) (38,547 [4,072])	7,003 [2,533] (6,911 [2,438]) (7,148 [2,516]) (6,367 [2,303])	55 [55] (73 [73]) (60 [60]) (51 [51])	2,049 (2,147) (2,039) (2,006)	9518 (7,940)	190 (180)	
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					
	738.15㎡	226	82,500					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	523.89㎡	フットサルコート1面				大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	—千円	300千円	図書購入費	20,000千円	20,000千円	20,000千円
	共同研究費等	—千円	3,000千円	設備購入費	30,000千円	30,000千円	30,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,600千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	人間総合科学大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間科学部	4	140	—	600	—	0.60	0.51	—	平成17	—	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士(健康栄養学)	0.79	0.58	—	平成17	埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地	
ヘルスフードサイエンス学科	4	60	—	280	学士(食品健康科学)	0.39	0.43	令和2	平成29	同上	定員変更(△20)
保健医療学部	4	170	—	640	—	0.98	0.78	—	平成23	—	
看護学科	4	90	—	340	学士(看護学)	1.02	0.81	—	平成23	埼玉県さいたま市岩槻区太田字新正寺曲輪354-3	定員変更(10)
リハビリテーション学科	4	80	—	300	—	—	—	—	平成23	同上	
理学療法学専攻	4	50	—	180	学士(理学療法学)	1.07	0.88	—	平成23	同上	定員変更(10)
義肢装具学専攻	4	30	—	120	学士(義肢装具学)	0.72	0.56	—	平成23	同上	
大学全体	4	310	—	1,240	—	0.79	0.66	—	—	—	
大学の名称	人間総合科学大学(通信教育課程)						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
人間科学部(通信教育課程)	4	500	—	2,000	—	0.57	0.41	—	平成12	—	※令和3年度入学生は前期入学者のみ
心身健康科学科	4	500	—	2,000	学士(人間科学)	0.57	0.41	—	平成12	埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地	定員変更(△500)
大学全体	4	500	—	2,000	—	0.57	0.41	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】		【平成29年度】		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	丸井 英二 (68) <平成29年4月> 保健学博士 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ ヘルスサイエンスリサーチ フードセーフティ入門 インターンシップ 卒業研究	丸井 英二 (69) <平成29年4月> 保健学博士 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ ヘルスサイエンスリサーチ フードセーフティ入門 インターンシップ 卒業研究	丸井 英二 (70) <平成29年4月> 保健学博士 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ ヘルスサイエンスリサーチ フードセーフティ入門 卒業研究	丸井 英二 (71) <平成29年4月> 保健学博士 公衆衛生学Ⅱ ヘルスサイエンスリサーチ フードセーフティ入門 卒業研究	丸井 英二 (72) <平成29年4月> 保健学博士 公衆衛生学Ⅰ 卒業研究	丸井 英二 (73) <平成29年4月> 保健学博士 公衆衛生学Ⅰ 卒業研究				
専	教授	岩切 大 (50) <平成29年4月> 医学博士 食品微生物学 免疫学 感染症学 応用微生物学実験 インターンシップ 卒業研究	免疫学 感染症学								
専	教授	中西 由季子 (48) <平成29年4月> 博士(農学) 心身健康科学概論 職業とキャリア形成 ライフステージ栄養学(栄養指導論) ライフステージ栄養管理実習(栄養指導論) 食品機能評価 フードマネジメント論 食品分析学 機能性食品学Ⅰ フードスペシャリスト論 フードコーディネーター論 インターンシップ 卒業研究	中西 由季子 (49) <平成29年4月> 博士(農学) 心身健康科学概論 ストレスと食・健康 コミュニケーション演習 食品学実験Ⅰ 栄養と代謝 栄養代謝実験 栄養分析学実験 ライフステージ栄養学(栄養指導論) ライフステージ栄養管理実習(栄養指導論) 食品機能評価 フードマネジメント論 食品分析学 機能性食品学Ⅰ フードスペシャリスト論 フードコーディネーター論 インターンシップ 卒業研究	中西 由季子 (50) <平成29年4月> 博士(農学) ストレスと食・健康 コミュニケーション演習 食品学実験Ⅰ 栄養と代謝 栄養代謝実験 食生活と健康 栄養分析学実験 ライフステージ栄養学 ライフステージ栄養管理実習 食品機能評価 フードマネジメント論 食品分析学 機能性食品学Ⅰ フードスペシャリスト論 フードコーディネーター論 健康科学英語(心身、食品、健康、衛生) インターンシップ 卒業研究	中西 由季子 (51) <平成29年4月> 博士(学術) 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品学総論 食品学各論 食品学実験Ⅰ 食品学実験Ⅱ 食品加工基礎 食品加工基礎実習 食品管理論 食品衛生学 食品衛生学実験 食品発酵学 食品加工応用 インターンシップ 卒業研究	中西 由季子 (52) <平成29年4月> 博士(学術) 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品学総論 食品学各論 食品学実験Ⅱ 食品管理論 食品衛生学 食品衛生学実験 インターンシップ 卒業研究	中西 由季子 (53) <平成29年4月> 博士(学術) 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品学総論 食品学各論 食品学実験Ⅱ 食品管理論 食品加工応用 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 給食経営管理実習(校外実習) 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究	中西 由季子 (54) <平成29年4月> 博士(学術) 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品学総論 食品学各論 食品学実験Ⅱ 食品管理論 食品加工応用 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 給食経営管理実習(校外実習) 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究	中西 由季子 (55) <平成29年4月> 博士(学術) 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品学総論 食品学各論 食品学実験Ⅱ 食品管理論 食品加工応用 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究		
			生貝 初 (64) <平成29年4月> 医学博士 食生活と健康 無機化学 インターンシップ 卒業研究								
			宮 聡子 (45) <平成29年4月> 博士(海洋科学) 食品微生物学 食品学各論 食品衛生学 食品衛生学実験 応用微生物学実験 インターンシップ 卒業研究	宮 聡子 (46) <平成29年4月> 博士(海洋科学) 食品微生物学 食品学各論 食品衛生学 食品衛生学実験 応用微生物学実験 健康科学英語(心身、食品、健康、衛生) インターンシップ 卒業研究	宮 聡子 (47) <平成29年4月> 博士(海洋科学) 食品微生物学 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品衛生学 食品衛生学実験 応用微生物学実験 食品生産流通学実習(視察) インターンシップ 卒業研究	宮 聡子 (48) <平成29年4月> 博士(海洋科学) 食品微生物学 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品衛生学 食品衛生学実験 応用微生物学実験 食品生産流通学実習(視察) 分子調理学 食品加工応用 給食経営管理実習(校外実習) 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究	宮 聡子 (49) <平成29年4月> 博士(海洋科学) 食品微生物学 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品衛生学 食品衛生学実験 応用微生物学実験 食品生産流通学実習(視察) 分子調理学 食品加工応用 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名								
		時光 一郎 (60) <平成29年10月> 医学博士				時光 一郎 (61) <平成29年10月> 医学博士	有機化学 無機化学 職業とキャリア形成 食品学各論 食品学実験Ⅱ 食品素材論 ヘルスフードサイエンス 分析化学 食品工学総論 食品資源論 健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)			時光 一郎 (62) <平成29年10月> 医学博士	心身健康科学 有機化学 無機化学 ストレスと食・健康 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品素材論 分析化学 食品加工応用 分子調理学 食品資源論 食品生産流通学実習(視察) フードスペシャリスト論 フードコーディネーター論 食環境生産教育実習 インターンシップ 卒業研究 国際研修 ボランティア活動			時光 一郎 (63) <平成29年10月> 医学博士	心身健康科学 有機化学 無機化学 ストレスと食・健康 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品素材論 分析化学 食品加工応用 分子調理学 食品資源論 食品生産流通学実習(視察) 食環境生産教育実習 給食経営管理実習(校外実習) インターンシップ 卒業研究 国際研修 ボランティア活動			時光 一郎 (64) <平成29年10月> 医学博士	心身健康科学 有機化学 無機化学 ストレスと食・健康 職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 食品素材論 分析化学 食品加工応用 分子調理学 食品資源論 食品生産流通学実習(視察) 食の科学 食環境生産教育実習 インターンシップ 卒業研究 国際研修 ボランティア活動				
兼任	教授	庄子 和夫 (55) <平成29年4月> 博士(理学)	生命科学概論 化学基礎 有機化学 無機化学 細胞と遺伝子 生化学実験	兼任	教授	庄子 和夫 (56) <平成29年4月> 博士(理学)	生命科学概論 細胞と遺伝子 生化学実験	兼任	教授	庄子 和夫 (57) <平成29年4月> 博士(理学)	生命科学概論 生化学 細胞と遺伝子 生化学実験	専任	教授	庄子 和夫 (58) <平成29年4月> 博士(理学)	ヒューマンⅡ 生化学 生化学実験	専任	教授	庄子 和夫 (59) <平成29年4月> 博士(理学)	生命科学概論 ヒューマンⅡ 生化学 生化学実験	専任	教授	庄子 和夫 (60) <平成29年4月> 博士(理学)	生命科学概論 ヒューマンⅡ 生化学 生化学実験
		秋山 佳代 (42) <平成30年4月> 修士(カウンセリング)				秋山 佳代 (43) <平成30年4月> 修士(カウンセリング)	職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 臨床栄養学概論 臨床栄養学実習 応用栄養学実習 公衆栄養学 ライフステージ栄養学 ライフステージ栄養管理実習 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 食環境生産教育実習 インターンシップ 卒業研究			秋山 佳代 (44) <平成30年4月> 修士(カウンセリング)	職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 栄養指導Ⅰ 栄養指導Ⅱ 栄養指導実習 食品加工応用 臨床栄養学概論 臨床栄養学実習 公衆栄養学 ライフステージ栄養学 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 給食経営管理実習(校外実習) 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究			秋山 佳代 (45) <平成30年4月> 修士(カウンセリング)	職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 栄養指導Ⅰ 栄養指導Ⅱ 栄養指導実習 食品加工応用 臨床栄養学概論 臨床栄養学実習 公衆栄養学 ライフステージ栄養学 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 給食経営管理実習(校外実習) 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究			秋山 佳代 (46) <平成30年4月> 修士(カウンセリング)	職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 栄養指導Ⅰ 栄養指導Ⅱ 栄養指導実習 食品加工応用 臨床栄養学概論 臨床栄養学実習 公衆栄養学 ライフステージ栄養学 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 給食経営管理実習(校外実習) 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究				
		矢部 えん (37) <平成30年4月> 修士(家政学)				矢部 えん (38) <平成30年4月> 修士(家政学)	調理学 給食計画論 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合調理(給食の運営)実習 食品加工応用 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 食環境生産教育実習 インターンシップ 卒業研究			矢部 えん (39) <平成30年4月> 修士(家政学)	職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 調理学 給食計画論 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合調理(給食の運営)実習 給食の運営管理論 給食経営管理実習(校外実習) 食品加工応用 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 食環境生産教育実習 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究			矢部 えん (40) <平成30年4月> 修士(家政学)	職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 調理学 給食計画論 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合調理(給食の運営)実習 給食の運営管理論 給食経営管理実習(校外実習) 食品加工応用 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 食環境生産教育実習 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究			矢部 えん (41) <平成30年4月> 修士(家政学)	職業とキャリア形成 コミュニケーション演習 調理学 給食計画論 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合調理(給食の運営)実習 給食の運営管理論 給食経営管理実習(校外実習) 食品加工応用 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 食環境生産教育実習 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究				
		本山 陽子 (51) <平成31年4月> 公衆衛生学修士				本山 陽子 (52) <平成31年4月> 公衆衛生学修士	職業とキャリア形成 食品学実験Ⅰ 食品学実験Ⅱ 栄養代謝実験 公衆衛生学Ⅰ 栄養分析学実験 食品官能評価 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) インターンシップ 卒業研究			本山 陽子 (53) <平成31年4月> 公衆衛生学修士	コミュニケーション演習 職業とキャリア形成 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 栄養分析学実験 食品官能評価 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 給食経営管理実習(校外実習) 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究			本山 陽子 (54) <平成31年4月> 公衆衛生学修士	コミュニケーション演習 職業とキャリア形成 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 栄養分析学実験 食品官能評価 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 給食経営管理実習(校外実習) 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究			本山 陽子 (55) <平成31年4月> 公衆衛生学修士	コミュニケーション演習 職業とキャリア形成 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 栄養分析学実験 食品官能評価 分子調理学 食品生産流通学実習(視察) 給食経営管理実習(校外実習) 国際研修 ボランティア活動 インターンシップ 卒業研究				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	矢島 孔明 (42) <平成29年4月> 博士(医学)	生物学基礎 生化学 コミュニケーション演習 栄養と代謝 身体の構造と機能 分析化学 インターンシップ 卒業研究	兼任	講師	矢島 孔明 (43) <平成29年4月> 博士(医学)	生物学基礎	兼任	講師	矢島 孔明 (44) <平成29年4月> 博士(医学)	心身健康科学概論 生物学基礎	兼任	准教授	矢島 孔明 (45) <平成29年4月> 博士(医学)	心身健康科学 ヒューマンI ヒューマンII 生物学基礎 基礎統計演習
専任	助教	平子 哲史 (31) <平成29年4月> 博士(薬学)	心身健康科学概論 栄養代謝実験 食生活と健康 病気の成り立ち 解剖生理学実習 応用栄養学実習 栄養分析学実験 インターンシップ 卒業研究	兼任	助教	平子 哲史 (32) <平成29年4月> 博士(薬学)	心身健康科学概論 病気の成り立ち 解剖生理学実習 応用栄養学実習	兼任	助教	平子 哲史 (33) <平成29年4月> 博士(薬学)	心身健康科学概論 解剖生理学実習				
兼任	助教	鈴木 恵美 (50) <平成29年4月> 修士(健康栄養科学)	心身健康科学概論 給食の運営管理論 給食経営管理実習(校外実習)	兼任	助教	鈴木 恵美 (51) <平成29年4月> 修士(健康栄養科学)	心身健康科学概論 給食の運営管理論 給食経営管理実習(校外実習)	専任	助教	鈴木 恵美 (52) <平成29年4月> 修士(健康栄養科学)	給食の運営管理論 給食経営管理実習(校外実習)	兼任	講師	鈴木 恵美 (53) <平成29年4月> 修士(健康栄養科学)	食環境生産教育実習
				兼任	講師	中沢 麻理 (61) <平成29年4月> 修士(健康福祉科学)	心身健康科学概論 コミュニケーション演習 公衆栄養学	専任	講師	中沢 麻理 (62) <平成29年4月> 修士(健康福祉科学)	コミュニケーション演習 栄養指導論I 栄養指導論II 栄養指導実習	兼任	講師	中沢 麻理 (63) <平成29年4月> 修士(健康福祉科学)	栄養指導論I 栄養指導論II 栄養指導実習
兼任	教授	久住 眞理 (69) <平成29年4月> 博士(医学)	心身健康科学概論									兼任	教授	久住 眞理 (72) <平成31年4月> 博士(医学)	ヒューマンIII
兼任	教授	久住 武 (65) <平成29年4月> 医学博士	基礎統計演習	兼任	教授	久住 武 (66) <平成29年4月> 医学博士	心身健康科学概論 基礎統計演習	兼任	教授	久住 武 (67) <平成29年4月> 医学博士	心身健康科学概論 基礎統計演習	兼任	教授	久住 武 (68) <平成29年4月> 医学博士	心身健康科学 ヒューマンI ヒューマンII ヒューマンIII 基礎統計演習
兼任	教授	鈴木 はる江 (61) <平成29年4月> 医学博士	心身健康科学概論 ストレスと食・健康	兼任	教授	鈴木 はる江 (62) <平成29年4月> 医学博士	心身健康科学概論	兼任	教授	鈴木 はる江 (63) <平成29年4月> 医学博士	心身健康科学概論 解剖生理学実習	兼任	教授	鈴木 はる江 (64) <平成29年4月> 医学博士	心身健康科学 ヒューマンI
兼任	教授	島田 涼子 (58) <平成29年4月> 博士(医学)	こころの科学	兼任	教授	島田 涼子 (59) <平成29年4月> 博士(医学)	こころの科学	兼任	教授	島田 涼子 (60) <平成29年4月> 博士(医学)	こころの科学	兼任	教授	島田 涼子 (61) <平成29年4月> 博士(医学)	ヒューマンIII こころの科学
兼任	教授	小岩 信義 (46) <平成29年4月> 博士(医学)	心身健康科学概論 基礎統計演習	兼任	教授	小岩 信義 (47) <平成29年4月> 博士(医学)	心身健康科学概論 基礎統計演習	兼任	教授	小岩 信義 (48) <平成29年4月> 博士(医学)	心身健康科学概論 基礎統計演習 ブレインサイエンス	兼任	教授	小岩 信義 (49) <平成29年4月> 博士(医学)	心身健康科学 ヒューマンI ヒューマンII 基礎統計演習 ブレインサイエンス
兼任	教授	白石 弘美 (69) <平成29年4月> 短期大学士	心身健康科学概論	兼任	教授	白石 弘美 (70) <平成29年4月> 短期大学士	心身健康科学概論 コミュニケーション演習	兼任	教授	白石 弘美 (71) <平成29年4月> 短期大学士	心身健康科学概論 コミュニケーション演習 臨床栄養学概論 臨床栄養学実習	兼任	教授	白石 弘美 (72) <平成29年4月> 短期大学士	心身健康科学 コミュニケーション演習
兼任	教授	熊谷 修 (60) <平成29年4月> 学術博士	心身健康科学概論 公衆栄養学												
兼任	教授	吉田 浩子 (56) <平成29年4月> 博士(理学)	行動科学概論	兼任	教授	吉田 浩子 (56) <平成29年4月> 博士(理学)	行動科学概論	兼任	教授	吉田 浩子 (57) <平成29年4月> 博士(理学)	行動科学概論	兼任	教授	吉田 浩子 (58) <平成29年4月> 博士(理学)	行動科学概論 ヒューマンII ヒューマンIII
兼任	教授	吉田 浩子 (56) <平成29年4月> 博士(理学)	行動科学概論	兼任	教授	吉田 浩子 (56) <平成29年4月> 博士(理学)	行動科学概論	兼任	教授	吉田 浩子 (57) <平成29年4月> 博士(理学)	行動科学概論	兼任	教授	吉田 浩子 (58) <平成29年4月> 博士(理学)	行動科学概論 ヒューマンII ヒューマンIII

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
兼任	教授	遠藤 隆行 (47) <平成29年4月> 博士(歯学)	ブレインサイエンス 食品機能学 食品生命科学 健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)	兼任	教授	遠藤 隆行 (48) <平成29年4月> 博士(歯学)	ブレインサイエンス 食品機能学 食品生命科学 健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)	兼任	教授	遠藤 隆行 (49) <平成29年4月> 博士(歯学)	食品機能学 食品生命科学								
兼任	教授	大塚 博 (48) <平成29年4月> 博士(工学)	数学					兼任	教授	大塚 博 (51) <平成31年4月> 博士(工学)	数学								
兼任	准教授	梅園 智子 (46) <平成29年4月> 博士(学術)	心身健康科学概論 調理学 食の科学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合調理実習	兼任	准教授	梅園 智子 (47) <平成29年4月> 博士(学術)	心身健康科学概論 調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合調理実習	兼任	准教授	梅園 智子 (48) <平成29年4月> 博士(学術)	心身健康科学概論								
兼任	助教	高原 皓全 (33) <平成29年4月> 博士(健康科学)	心身健康科学概論 コンピュータ入門 体育概論 スポーツと健康																
兼任	助教	朴峠 周子 (32) <平成29年4月> 博士(学術)	心身健康科学概論 コンピュータ入門	兼任	助教	朴峠 周子 (33) <平成31年4月> 博士(学術)	心身健康科学概論 コンピュータ入門	兼任	講師	朴峠 周子 (35) <平成31年4月> 博士(学術)	ヒューマンⅠ ヒューマンⅢ コンピュータ入門	兼任	講師	朴峠 周子 (36) <平成31年4月> 博士(学術)	ヒューマンⅠ ヒューマンⅢ				
				兼任	教授	渡邊 成 (66) <平成29年4月> 医学学士	心身健康科学概論 コミュニケーション演習 身体の構造と機能	兼任	教授	渡邊 成 (67) <平成29年4月> 医学学士	心身健康科学概論 身体の構造と機能 病気の成り立ち 免疫学 感染症学	兼任	教授	渡邊 成 (68) <平成29年4月> 医学学士	コミュニケーション演習 身体の構造と機能 病気の成り立ち	兼任	講師	渡邊 成 (70) <平成29年4月> 医学学士	身体の構造と機能 病気の成り立ち
				兼任	講師	藤原 宏子 (52) <平成29年4月> 博士(理学)	心身健康科学概論	兼任	講師	藤原 宏子 (53) <平成29年4月> 博士(理学)	心身健康科学概論	兼任	教授	藤原 宏子 (54) <平成29年4月> 博士(理学)	心身健康科学 ヒューマンⅠ ヒューマンⅡ	兼任	教授	藤原 宏子 (55) <平成29年4月> 博士(理学)	心身健康科学 ヒューマンⅠ ヒューマンⅡ
				兼任	講師	弓削田 綾乃 (44) <平成29年4月> 博士(人間科学)	体育概論 スポーツと健康	兼任	講師	弓削田 綾乃 (45) <平成29年4月> 博士(人間科学)	体育概論 スポーツと健康								
				兼任	助教	大出 理香 (46) <平成29年4月> 修士(健康栄養科学)	心身健康科学概論 コミュニケーション演習	兼任	助教	大出 理香 (47) <平成29年4月> 修士(健康栄養科学)	心身健康科学概論 コミュニケーション演習	兼任	助教	大出 理香 (48) <平成29年4月> 修士(健康栄養科学)	コミュニケーション演習 食環境生産教育実習	兼任	助教	大出 理香 (49) <平成29年4月> 修士(健康栄養科学)	食環境生産教育実習
				兼任	助教	岩崎 有希 (28) <平成29年4月> 博士(栄養学)	心身健康科学概論 化学基礎 コミュニケーション演習	兼任	助教	岩崎 有希 (29) <平成29年4月> 博士(栄養学)	化学基礎	兼任	助教	岩崎 有希 (30) <平成29年4月> 博士(栄養学)	細胞と遺伝子	兼任	助教	岩崎 有希 (31) <平成29年4月> 博士(栄養学)	細胞と遺伝子 食品学実験Ⅰ 栄養分析学実験
				兼任	助教	鈴木 淳子 (59) <平成29年4月> 博士(学術)	数学 コンピュータ入門	兼任	助教	鈴木 淳子 (60) <平成29年4月> 博士(学術)	数学 コンピュータ入門								
												兼任	教授	中野 博子 (64) <平成31年4月> 文学修士	ヒューマンⅢ				
												兼任	教授	中山 和久 (49) <平成31年4月> 博士(社会学)	ヒューマンⅡ ヒューマンⅢ	兼任	教授	中山 和久 (50) <平成31年4月> 博士(社会学)	ヒューマンⅡ
												兼任	教授	鎌谷 方子 (48) <平成31年4月> 博士(理学)	ヒューマンⅠ	兼任	教授	鎌谷 方子 (49) <平成31年4月> 博士(理学)	ヒューマンⅠ
												兼任	教授	山館 周恒 (68) <平成31年4月> 博士(医学)	機能的評価科学(臨床検査学)	兼任	教授	山館 周恒 (69) <平成31年4月> 博士(医学)	機能的評価科学(臨床検査学)
												兼任	准教授	萩原 豪人 (44) <平成31年4月> 修士(社会学)	ヒューマンⅡ ヒューマンⅢ	兼任	准教授	萩原 豪人 (45) <平成31年4月> 修士(社会学)	ヒューマンⅡ ヒューマンⅢ
												兼任	准教授	村上 香奈 (42) <平成31年4月> 博士(心理学)	ヒューマンⅢ				
												兼任	助教	元木 敬太 (34) <平成31年4月> 博士(医学)	ヒューマンⅠ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任	講師	佐藤 裕子 (38) <平成30年4月> 修士(家政学)		佐藤 裕子 (39) <平成30年4月> 修士(家政学)			
		栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ 栄養指導実習		栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ 栄養指導実習			
兼任	講師	松尾 登 (65) <平成30年10月> 農学博士		松尾 登 (66) <平成30年10月> 農学博士			
		健康科学英語(心身、食品、健康、衛生) 国際英語(プレゼンテーション)		健康科学英語(心身、食品、健康、衛生) 国際英語(プレゼンテーション)			
				山田 裕子 (59) <平成31年4月> 文学学士		山田 裕子 (59) <平成31年4月> 文学学士	
				英語基礎		英語基礎	
				山本 和守 (64) <平成31年4月> 博士(医学)		山本 和守 (64) <平成31年4月> 博士(医学)	
				食品機能評価 食品分析学 食品生命科学		食品機能評価 食品分析学 食品生命科学	
				山田 直人 (63) <平成31年4月> 工学修士		山田 直人 (63) <平成31年4月> 工学修士	
				食品工学総論 食品加工貯蔵学 食品リスク管理論 トレーサビリティ論		食品工学総論 食品加工貯蔵学 食品リスク管理論 トレーサビリティ論	
				沖田 憲文 (64) <平成31年4月> 商学学士		沖田 憲文 (64) <平成31年4月> 商学学士	
				食品の経営学 食品流通学		食品の経営学Ⅰ 食品流通学	
				小平 健太郎 (42) <平成31年10月> 修士(体育学)		小平 健太郎 (42) <平成31年10月> 修士(体育学)	
				体育概論 スポーツと健康		体育概論 スポーツと健康	
				石本 強 (62) <平成31年10月> 博士(保健学)		石本 強 (62) <平成31年10月> 博士(保健学)	
				免疫学 感染症学		免疫学 感染症学	
				加藤 秀雄 (69) <平成31年10月> 経営学学士		加藤 秀雄 (69) <平成31年10月> 経営学学士	
				フードマネジメント論		フードマネジメント論	
				市丸 誠男 (59) <令和2年4月> 修士(経営管理)		市丸 誠男 (59) <令和2年4月> 修士(経営管理)	
				食品生産流通学実習(視察) グローバルヘルスフード開発 国際産学連携論 食品の経営学Ⅱ フードシステム学		食品生産流通学実習(視察) グローバルヘルスフード開発 国際産学連携論 フードシステム学	
				五十嵐 奈子 (53) <令和2年4月> 学士(法学)		五十嵐 奈子 (53) <令和2年4月> 学士(法学)	
				フードスペシャリスト論 フードコーディネーター論 食の科学 フードセーフティ入門 食品安全等国際制度論 フードビジネス関連法規		フードスペシャリスト論 フードコーディネーター論 食の科学 フードセーフティ入門 食品安全等国際制度論 フードビジネス関連法規 食品生命科学	
				宮坂 勇一郎 (67) <令和2年4月> 食品科学及び技術の理学修士		宮坂 勇一郎 (67) <令和2年4月> 食品科学及び技術の理学修士	
				食品発酵学 国際英語(プレゼンテーション) 健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)		食品発酵学 国際英語(プレゼンテーション) 健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)	
				木村 健志 (45) <令和2年4月> 博士(理学)			
				数学			
				福島 洋一 (54) <令和2年4月> 博士(農学)		福島 洋一 (54) <令和2年4月> 博士(農学)	
				ヘルスサイエンスリサーチ シンバイオティクス		ヘルスサイエンスリサーチ シンバイオティクス	
				渡邊 和寿 (39) <令和2年4月> 博士(医学)		渡邊 和寿 (39) <令和2年4月> 博士(医学)	
				栄養遺伝子学(ニュートリゲノミクス)		栄養遺伝子学(ニュートリゲノミクス)	
				佐伯 洋二 (61) <令和2年4月> 博士(歯学)		佐伯 洋二 (61) <令和2年4月> 博士(歯学)	
				機能性食品Ⅰ 機能性食品Ⅱ		機能性食品Ⅰ 機能性食品Ⅱ	
				中澤 進之右 (62) <令和2年4月> 修士(農学)			
				コンピューター入門			
						藤井 茂 (68) <令和2年9月> 経済学士	
						給食計画論 給食の運営管理論 総合調理(給食の運営)実習	
						落合 龍史 (58) <令和3年4月> 博士(心身健康科学)	
						食品機能評価 食品分析学	

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・専任生貝初教授退職による辞任及教育効果の充実を図る理由により、兼担助教鈴木恵美助教、兼担中沢麻理講師を専任に変更。
- ・兼担朴峠周子助教産休による辞任。オムニバス科目を担当しており授業に影響がない為、後任なし。
- ・教育効果の充実を図る理由により、兼担矢部えん助教新規採用。
- ・兼任岡野幸江講師退職による辞任により、兼任矢澤美佐紀講師に変更。
- ・兼任高橋紀子講師退職による辞任。オムニバス科目を担当しており授業に影響がない為、後任なし。
- ・教育効果の充実を図る理由により、兼任小川聖子講師、兼任佐藤裕子講師、兼任松尾登講師新規採用。

【令和元年度】

- ・専任中西由季子教授退職による就任辞退により、専任庄子和夫教授、兼任加藤秀樹講師に変更。
- ・専任鈴木恵美助教所属変更による兼担講師に変更により、専任矢部えん助教に変更。
- ・専任中沢麻理講師所属変更による兼担講師に変更により、専任秋山佳代講師に変更。
- ・専任桑田有教授定年退職による兼担に変更。後任は教員組織編制の将来構想に基づき、平成29・30年度専任教員を採用済。
- ・教員組織編制の将来構想に基づく教育効果の充実を図る理由により、専任本山陽子講師新規採用。
- ・兼担平子哲史助教就任辞退により、兼担山館周恒教授、兼担貝原奈緒子助教に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、兼担久住眞理教授再採用。
- ・兼担遠藤隆行教授就任辞退により、兼任山本和守講師に変更。
- ・兼担鈴木淳子助教退職による就任辞退により、兼担大塚博教授、兼担朴峠周子講師に変更。
- ・兼担梅國智子准教授就任辞退。オムニバス科目を担当しており授業に影響がない為、後任なし。
- ・兼担弓削田綾乃講師就任辞退により、兼任小平健太郎講師に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、兼担中野博子教授、兼担中山和久教授、兼担鍵谷方子教授、兼担萩原豪人准教授、兼担村上香奈准教授、兼担元木敬太助教新規採用。
- ・兼担織田佐由子講師退職による就任辞退により、兼任山田裕子講師に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、兼任石本強講師、兼任山田直人講師、兼任沖田憲文講師新規採用。

【令和2年度】

- ・兼担 大塚博教授就任辞退により、木村健志講師に変更
- ・兼担 中野博子教授就任辞退により、兼担佐藤弘子准教授に変更
- ・兼担 村上香奈准教授就任辞退により、兼担佐藤弘子准教授に変更
- ・兼担 木内敬太助教就任辞退により、兼担佐藤弘子准教授に変更
- ・兼任 桑田有教授就任辞退により、兼任五十嵐条子講師に変更
- ・兼任 大谷敏郎教授就任辞退により、兼任五十嵐条子講師に変更
- ・兼任 佐藤裕子講師就任辞退により、専任秋山佳代講師に変更
- ・兼任 松尾登講師就任辞退により、兼任宮坂勇一郎講師に変更

【令和3年度】

- ・兼任 小川聖子講師就任辞退により、兼担戸張千夏助教に変更
- ・兼任 中澤進之右講師就任辞退により、兼担谷本伸男教授に変更
- ・兼任 木村健志講師就任辞退により、兼任外村学講師に変更
- ・兼任 矢澤美佐紀講師就任辞退により、兼任山宮里佳講師に変更
- ・兼任 山本和守講師就任辞退により、兼任落合龍史講師に変更

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
7 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	0	1	1	7	1	4	0	3	1	8	2
(6)	(0)	(0)	(1)	(7)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	0	3	1	8	2	4	0	3	1	8	2
[Δ1]	[-]	[+2]	[-]	[+1]	[+1]	[Δ1]	[-]	[+2]	[-]	[+1]	[+1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{7} = \boxed{114.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{2}{1} = \boxed{200} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	岩切 大	H29.3	必修	食品微生物学	①	H29.3.31付け人間総合科学大学を退職したため 就任辞退（29）						
				選択	免疫学	②							
				選択	感染症学	②							
				選択	応用微生物学実験	①							
2	講師	矢島 孔明	H29.3	必修	生物学基礎	②	H29.4.1付け人間科学部心身健康科学科専任に 就任したため就任辞退（29）						
				必修	生化学	①							
				必修	コミュニケーション演習	①							
				必修	栄養と代謝	②							
				必修	身体の構造と機能	②							
				選択	分析化学	①							
3	助教	平子 哲史	H29.3	必修	心身健康科学概論	③	H29.4.1付け人間科学部健康栄養学科専任に就 任したため就任辞退（29）						
				選択	栄養代謝実験	②							
				必修	食生活と環境	②							
				選択	病気の成り立ち	②							
				選択	解剖生理学実習	②							
				選択	応用栄養学実習	②							
				選択	栄養分析学実験	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	8	科目	必修	3	科目	必修	4	科目	必修	1	科目
		選択	9	科目	選択	3	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	6	科目	計	10	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	中西 由季子	H31.3	必修	ストレスと食・健康	①	H31.3.31付け家庭の事情による一身上の都合で、人間総合科学大学を退職したため専任教員辞任（元）						
				必修	コミュニケーション演習	①							
				必修	食品学実験Ⅰ	①							
				必修	栄養と代謝	②							
				必修	栄養代謝実験	②							
				必修	食生活と健康	②							
				必修	栄養分析学実験	①							
				必修	ライフステージ栄養学	①							
				選択	ライフステージ栄養管理実習	②							
				選択	食品機能評価	②							
				必修	フードマネジメント論	②							
				選択	食品分析学	②							
				選択	機能性食品学Ⅰ	②							
				選択	フードスペシャリスト論	②							
選択	フードコーディネーター論	②											
選択	健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）	②											
選択	卒業研究	①											
2	講師	中沢 麻理	H31.3	必修	コミュニケーション演習	①	H31.4.1付け人間科学部健康栄養学科専任に就 任したため専任教員辞任（元）						
				必修	栄養指導論Ⅰ	①							
				必修	栄養指導論Ⅱ	①							
3	助教	鈴木 恵美	H31.3	必修	給食の運営管理論	②	H31.4.1付け人間科学部健康栄養学科専任に就 任したため専任教員辞任（元）						
				必修	給食経営管理実習（校外実習）	①							
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	15	科目	必修	10	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	1	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	23	科目	計	11	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
6 人	必修	23 科目	必修	13 科目	必修	9 科目	必修	1 科目
	選択	17 科目	選択	4 科目	選択	13 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	40 科目	計	17 科目	計	22 科目	計	1 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{6}{7} = \boxed{85.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	生貝 初	必修	食生活と健康	②	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)		
			選択	無機化学	①			
2	教授	桑田 有	必修	心身健康科学概論	③	H31.3.31付け75歳で特例で定める定年退職(元)		
			必修	ストレスと食・健康	①			
			必修	職業とキャリア形成	①			
			必修	コミュニケーション演習	①			
			必修	食品学各論	①			
			必修	食の科学	①			
			選択	食品発酵学	②			
			選択	食品加工貯蔵学	②			
			必修	フードシステム学	②			
			選択	食品生産流通学実習(視察)	①			
			選択	健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)	②			
			選択	グローバルヘルスフード開発	②			
			選択	フードセーフティ入門	②			
選択	食環境生産教育実習	①						
選択	インターンシップ	①						
選択	卒業研究	①						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2 人	必修	8 科目	必修	5 科目	必修	2 科目	必修	1 科目
	選択	10 科目	選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	18 科目	計	10 科目	計	7 科目	計	1 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

岩切大教授(人間科学部人間科学科・平成29年3月)のやむを得ない退職及び矢島孔明講師(人間科学部心身健康科学科・平成29年4月)、平子哲史助教(人間科学部健康栄養学科・平成29年4月)の他学科就任に伴い、生貝初教授(平成29年4月)、宮聡子助教(平成29年4月)、時光一郎教授(平成29年10月)を本学科の専任教員とした。
生貝初教授(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科・平成30年3月)の定年による退職に伴い、中沢麻理講師(平成30年4月)、鈴木恵美助教(平成30年4月)を本学科の専任教員とした。
中西由希子教授(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科・平成31年3月)のやむを得ない退職及び桑田有教授(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科・平成31年3月)の特例の定年による退職に伴い、庄子和夫教授(平成31年4月)、本山陽子講師(平成31年4月)を本学科の専任教員とした。
中沢麻理講師(人間科学部健康栄養学科・平成31年4月)、鈴木恵美助教(人間科学部健康栄養学科・平成31年4月)の他学科就任に伴い、秋山佳代講師(平成31年4月)、矢部えん助教(平成31年4月)を本学科の専任教員とした。
なお、学生には、ガイダンス時における教員紹介、シラバス、時間割により周知されている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (平成28年)	・人間科学部人間科学科（通信教育課程）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	・人間科学部心身健康科学科（平成29年度より人間科学科より名称変更）の入学定員を平成29年度入学生より1,000名から500名に変更した。	履行中
	・平成29年度より定員変更（500名）を行い、入学者は平成29年度367名/500名（0.73%）、平成30年度365名/500名、平成31年度春期253名/200名と入学定員充足率が改善している。今後もより入学定員充足率が改善するよう努力していく。			
	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項	・認可時完成年度における退職年齢を超える専任教員数は7名中2名であったが、教員組織編制の将来構想を見直し現在8名中1名としている。また、退職する後任の採用として、50歳代の教授職を公募する検討を行っている。	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年)	・人間科学部ヘルスフードサイエンス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	・入学定員の大幅な未充足を重く受け止め、学生募集の見直し及び強化を図るとともに、入学定員の見直しについて検討することとしている。	履行中
	・設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見に記載しているとおり、本学科の魅力を最大限に受験対象者に理解が十分に得られるよう学生募集の見直し及び強化を図るとともに、ヘルスフードサイエンス学科の入学者の需要調査を改めて実施することとする。その上で、将来構想等を考慮しながら入学定員の見直しについて検討する。			
	・人間総合科学研究科臨床心理学専攻（M）（通信教育課程）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項	・認可時完成年度における退職年齢を超える専任教員数は6名中1名であったが、教員組織編制の将来構想を見直し現在6名中0名としている。引続き教員組織編制の将来構想を着実に実行していく。	履行済

設置計画履行状況 調査時 (平成30年)	<p>・平均入学定員充足率が0.12倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科)</p>	是正意見	<p>・入学定員の大幅な未充足を重く受け止め、学生募集の見直し及び強化を図るとともに、入学定員の見直しについて検討することとしている。</p>	履行中	<p>・設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見に記載しているとおおり、本学科の魅力を最大限に受験対象者に理解が十分に得られるよう学生募集の見直し及び強化を図るとともに、ヘルスフードサイエンス学科の入学者の需要調査を改めて実施することとする。その上で、将来構想等を考慮しながら入学定員の見直しについて検討する。</p>
	<p>・休講や授業時間の変更連絡が、変更当日に学内の掲示板で掲示されるのみで学生の履修に支障が生じている。休講や授業時間の変更の際は、期間に余裕をもって周知するとともに、急な変更時は速やかに学内ホームページやメール等を活用すること。(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科)</p>	留意事項	<p>休講や授業時間の変更の際は、期間に余裕をもって周知するとともに、急な変更時はポータルサイト(Uhas@Myキャンパス)を利用し学生が携帯からも確認できるように学内運用の改善及び教職員へ周知徹底を実施した。</p>	履行済	
	<p>教員のオフィスアワーが学生に適切に周知されていないため改善すること。(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科)</p>	留意事項	<p>オフィスアワーについて、学生便覧、掲示板及びガイダンスで周知徹底を図り、学内運用の改善を実施した。</p>	履行済	
	<p>・成績評価に対する学生からの不服申し立て制度を整備した上で、学生に周知することが望ましい。(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科)</p>	留意事項	<p>・成績評価に対する学生からの不服申し立て制度を整備し、学生に周知するよう学内運用の改善を実施した。</p>	履行済	
設置計画履行状況 調査時 (令和元年)	<p>○平均入学定員充足率が0.18倍と依然として著しく低く、昨年度の指摘以降、具体的な改善策の検討がなされておらず、その合理的な理由も認められない。早急に長期的な学生確保の見通しを客観的な根拠に基づき分析し、学生確保に向けた改善策を講じ、入学定員の充足に努めること。また、併せて入学定員の見直しも検討すること。(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科)</p>	是正意見	<p>○客観的な根拠を得るため高校生を対象とした需要調査を改めて実施した。また、同系統競合大学等の市場環境を踏まえたうえで、長期的な学生確保の見通しについて検討を実施。その結果、具体的な改善策として、中長期的な視点では、社会的認知度の向上を目指すためPR会社のサポートによる教育成果の発信体制構築と特定の高等学校から継続的に学生を確保するための高等学校との連携事業を実施。短期的な視点では入学試験実施回数の増加や需要調査に基づいた大学案内、広告等の作成と掲出を行った。 ○入学定員を80名から60名に見直し、令和2年度入学生より変更を実施した。</p>	履行中	<p>○中長期的な学生確保を図るため、引き続き企業と連携した教育活動を展開し、学生募集へつなげる。</p>

7 その他全般的事項

<人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 卒業要件単位数 130単位 必修科目63単位, 選択科目57単位	① 学生の専門性をより高めるため、栄養士免許養成校として平成30年度より認定された。 卒業要件単位数 130単位 必修科目100単位, 選択科目30単位

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、「FD・SD推進委員会」を設置し、FD活動を計画・実施している。(平成19年度～平成22年度「FD推進室」、平成23年度～平成27年度「FD推進委員会」、平成28年度～「FD・SD推進委員会」として規程、運営方法の見直しも行いながら、機動的な活動展開を実施している。)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>本学のFD・SD推進委員会は、令和元年度構成員16名(教員11名、職員5名)、令和2年度構成員16名(教員11名、職員5名)、令和3年度15名(教員10名、職員5名)とし設置。このような構成員及び出席者により、令和2度は、年6回開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD・SD推進委員会(FD・SD推進委員会規程第7条)</p> <p>(1) FD及びSD活動方針に関する事項 (2) 授業アンケート、卒業生アンケート等FDの実施に関する事項 (3) FD機関紙に関する事項 (4) FD・SD研修プログラムの開発・実施に関する事項 (5) その他FD及びSDに関する重要な事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会 ・ 新任教員のための研修会 ・ 教員相互の授業参観及び意見交換会 ・ 学生による授業評価アンケート ・ 機関誌の発行 等 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会：テーマを決め、全教職員を対象に定期的開催 ・ 新任教員のための研修会：着任時に新任教員対象に研修会を実施 ・ 教員相互の授業参観及び意見交換会：各学科で授業参観の対象教員及び科目を決定し、年間を通じて全教職員を対象に実施 ・ 学生による授業評価アンケート：全ての授業について、各授業終了時に実施 ・ 機関誌の発行：FD研修会及び教員相互の授業参観等における内容を機関誌(News Letter)にて発行
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD研修会 年6回
 - ・新任教員のための研修会 1回
 - ・教員相互の授業参観及び意見交換会
 - ・学生による授業評価アンケート 年2回
 - ・機関誌の発行 年1回

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FD研修会を通じて、自分自身の研究領域及び研究に対する視野を広げ相関性を持つと共に、教育の資質向上に努めている。
- ・学生による授業評価アンケートの集計結果に対して、各教員に授業改善提案書を提出させることで、授業改善に努めている。
- ・本学での取組みを機関誌として発行することで、振り返り及び新着任教員への周知徹底に役立てている。全体研修のみならず、各部署の情報も掲載する。
- ・教員相互の授業参観についてはコロナ渦でも可能な企画を工夫し運営する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施	有
実施時期	各授業終了時に実施（集計春期・秋期の年2回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・Webシステム（Uhas@Myキャンパス）上で、教員や学生へ集計結果を公開している。
- ・ホームページ上で概要を公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・『自己点検評価書』(平成31年度)、『自己点検評価書』(平成27年度)、
- ・『自己点検評価書』(平成24年度)、『自己評価報告書』(平成20年度)、
- 『人間総合科学大学 自己点検・評価報告書(2000-2003年度)』は過年度に公表済み

b 公表方法

- ・『自己点検評価書』(平成31年度)、『自己点検評価書』(平成27年度)、
- 『自己点検評価書』(平成24年度)、『自己評価報告書』(平成20年度)は大学ホームページにて公表
- ・『人間総合科学大学 自己点検・評価報告書(2000-2003年度)』は大学事務局

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成27年度に日本高等評価機構による大学機関別認証評価を受審し、「適合」と認定された。
- ・次回は令和4年に受審を予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

a 公表予定の有無 [有]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [公表後2~3ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトにて公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。